

おいしいだ

議会だより

No. 118
2008/10



元気いっぱい大石田保育園

第3回定例会

9/9 ~ 18

第3回臨時会

7/22

2P 平成19年度決算を認定

5P 統合中学校建設工事始まる

7P 町政を問う (5議員の一般質問)

12P 議会を傍聴して

この広報紙は再生紙を使用しています

発行/山形県大石田町議会

発行責任者/議長 大山 二郎

編集/広報特別委員会・〒999-4112 大石田町緑町一番地

☎0237(35)2111

議会を

傍聴して



佐藤 金次さん (横町)

会社休日の朝、いつものようにコーヒーを飲みながら新聞を目を通して「議会を傍聴しませんか」というチラシが目にとまった。これが、今回初めて議会を傍聴するきっかけでした。チラシに記載された一般質問の中に最近おりに触れて気にかかっていた事項もあり、是非傍聴してみようと考えました。

私も町民として40数年大石田町に住み、良き妻と三人の子供に恵まれ、水と緑の豊かな自然に囲まれたこの町を愛する者の一人です。恥ずかしながら若かりし頃は、政治や経済などには無関心であり、他人任せな部分が大半で、まして町議会などものほかでした。

しかし、年を重ねることに、会社での責任ある仕事への変化、子供が保育園から中学、高校と成長していく過程とともに、行政、町議会が深く関係していることが実は、私一人一人の考えや意見が大きく関係し、行政や議会の原動力となっていたことを痛感させられました。宮崎県東国原知事が「どげんかせんといかん」という言葉は、知事だけの言葉でなく私たち全員の言葉なんだと感じさせられました。

議場傍聴席入口の扉をドキドキしながらあけ一礼し入場するとそこは、一本の張りつめた糸の様な雰囲気の中に、おごそかにも激しく答弁する議会がありました。一時間という限られた時間の中、各議員の方々が適切に意見をまとめた意見陳述の後、町長はじめ町行政の

方々と答弁が交わされる時間を忘れ聞き入っていました。

明るく住みよいままの大石田を確実に子供たちへバトンタッチするため、私達の思いを行政、町議会に届けるために、そして何より私たちが町の原動力となっていることが議会を傍聴して肌で感じられました。機会があれば議会を傍聴し、みなさんにも是非傍聴してもらいたいと思います。

青森県、福井県より行政視察に来町



平内町議会より来町

7月23日に青森県平内町議会より総務福祉常任委員会が来町しました。

当町の「自立と協働のまちづくり」について横山総務企画課長が、新たな大石田町として自立を目指していくための自立計画について詳しく説明し、お互い自立の町を目指して見識を深めました。1時間30分という短い時間でしたが、研修目的を十分達成することが出来たことのお礼の言葉をいただきました。

7月31日福井県勝山市

議会の6名の議員が視察に訪れました。当町の雪対策と大石田地区流雪溝利用協力会連合会活動について研修したいとのことであった。そのため、大石田地区流雪溝利用協力会連合会榎本会長、町建設課吉田主幹が説明を行った。2時間程度の研修でしたが昼過ぎまでお互い活発に意見を交換した研修内容でした。

議会を傍聴しませんか?

次の定例会は

12月4日(木)~10日(水)の予定です。

傍聴は気軽においでください。

お問い合わせ先 大石田町議会事務局
TEL. 35-2111 内線312 FAX. 35-2118

委員長	芳賀 清
副委員長	小林 征雄
委員	小玉 勇
委員	村岡 藤弥
委員	齋藤 公一

■ 広報特別委員会 ■

先日、大石田中新築工事安全祈願祭が行われ、昭和30年代から浮いては消え、消えては浮く学校統合問題もようやく形としてみる事ができます。これからの町をしっかりと立つ宝物である子供たちにも、より良い教育環境のもとで勉強に励むとともに素晴らしい人間関係を見出し、もらいたいものです。

中学校の次は小学校統合がまっています。大変重要な問題であるがゆえ慎重にならなくてはならないのですが、親のエゴや地域のエゴなどはざりと捨て、子供たちのことを最優先に考え、一日も早く良い環境が出来ることを願わずにはられません。

(記 村岡)

編集後記